

科目区分	専門基礎分野	授業科目	治療論
講師名	吉田 弘太郎(4) 新田 美喜子(4) 今代 元太(4) 渡邊 直美(3) 中田 健(2) 當田 晶子(4) 平野 哲生(8)	実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	1年次 第2学期
授業概要 *講師からのメッセージ			
<p>目的：健康回復を促進する治療法を理解し、看護実践に必要な知識を学ぶ。 目標：1. 麻酔と周手術期の全身管理の基礎を理解する。 2. 心肺蘇生法について理解する。 3. 重症外傷、重症熱傷等救急医療について理解できる。 4. 画像診断の基礎を理解する。 5. 放射線治療を受ける患者の看護実践に必要な知識を習得する。 6. リハビリテーションの基礎と看護実践に必要な知識を習得する。 7. がん化学療法を受ける患者の看護実践に必要な知識を習得する。</p>			
回	授業内容		
1	手術療法	1. 外科看護の基礎 手術侵襲と生体反応 2. 外科的治療の実際 外科的基本手技 1) 切創 2) 縫合 3) 抜糸 4) 止血 5) 胃管チューブの挿入	
2		3. 麻酔法 1) 麻酔とは 2) 麻酔の種類 3) 術前管理(問診と診察、術前身体的評価、精神的ケア、経口制限、術前輸液、内服薬の中止等) 4) 術中管理(術中モニター、体位) 5) 全身麻酔(気道の確保、麻酔導入法) 6) 局所麻酔	
3		4. 呼吸管理 5. 体液管理(手術期の輸液管理) 6. 外科手術における栄養管理 7. 輸血療法	
4		8. 術後管理(術後疼痛管理、ドレーン管理) 9. 術後合併症発生機序 10. おこりやすい術後合併症の予防と発症時の対応	
5		救急法	1. 救急医療体制 2. 医療施設内の救急部門 3. 救急患者の対象の理解 4. 主要病態に対する救急処置と看護 1) 救急処置法の原則(救急処置のABC、バイタルサインの評価、意識障害の評価、感染防御、BLS、ALS、小児の心肺蘇生)
6・7	4. 外傷への対応 5. 熱傷への対応 6. 中毒への対応 7. 溺水への対応 8. 刺咬症への対応		
8	放射線療法 (画像診断)	1. 画像診断 1) X線診断 2) CT 3) MRI 4) 超音波検査 5) 各医学検査 6) IVR・血管造影	
9	放射線療法 (放射線治療)	2. 放射線治療総論 1) 放射線治療の原理と基礎 2) 放射線治療の特徴と目的 3) 照射法種類 4) 放射線治療各論 ①脳腫瘍 ②頭頸部がん 等 3. 放射線防護	
10	リハビリ テーション	1. リハビリテーション概論 2. リハビリテーション医療の提供	
11・12		3. リハビリテーションの実際 1) 廃用症候群の予防 2) 他動的関節可動域運動 <演習含む> 3) 筋力増強運動 ①等尺性運動(大腿四頭筋セッティング) ②等張性運動 ③松葉杖歩行<演習含む>	
13		4) 日常生活援助(作業療法) 1) 更衣 2) 整容 3) 食事(自助具の選択)	
14 15(45分)	がん化学療法	1. がんの治療 薬物療法 2. 化学療法の治療計画について(レジメン) 3. がん化学療法の実際 4. 高齢者に対する化学療法 5. 入院化学療法と外来化学療法 6. チームアプローチの調整	
16(45分)	終了試験		
授業方法	講義		
評価方法	筆記試験 100点満点 評価基準参照		
テキスト	医学書院：系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院：系統看護学講座 別巻 救急看護学 医学書院：系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 医学書院：系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院：系統看護学講座 別巻 がん看護学		
備考			